

OFA GK育成プロジェクト 活動レポート

2019年11月
一般社団法人大阪府サッカー協会



OFA GKアカデミー

文責：時久 省吾（OFA GKアカデミーGKコーチ）

11月はビルドアップをテーマにトレーニングに取り組みました。アカデミーでは主にキックの精度を上げる事を重点的に取り組み自チームで落とし込むといった形で行いました。チームトレーニングで行われたゲーム形式ではプレッシャーを受けやすいサイズでのゲームで、パス&サポートのトレーニングには最適でした。ゲームの流れやリズムを壊さないといった意味では自分の準備や早くプレーする事だけを意識しすぎて見方がボールをもらっても、困ってしまう事が多く感じられました。最近のテーマの中でコーチングを継続して意識しているのですが攻撃の際も次にボールを受けそうな選手に声を予めかけておくことも必要です。自分がどうして欲しいのかをトレーニングから味方とコミュニケーションをとってすり合わせていかなければなりません。また見ることで、つないだ方が良いのか、クリアしたほうが良いのかの判断につながっていきます。せっかくマイボールにしたのに簡単に相手に渡してしまう事が無いように状況に応じて効果的な選択をしていけるように取り組んでいきたいと思えます。



OFA GKスクール

文責：櫛引 実（JFAアカデミー堺GKコーチ）

今月はU-12が2回、U-15が1回でした。U-12は11月11日（月）にレッスン9（ハイボールジャンプキャッチ）、25日（月）にレッスン7（アングルプレー）を行いました。U-15は11月18日（月）にレッスン10（ハイボールパンチング）を行いました。U-12のハイボールジャンプキャッチでは、正面のボールを得意の足で踏み切ることからスタートしました。それでも出来ないスクール生には足を上げるだけで行いました。得意な足での踏み切りは多くのスクール生が出来るようになりましたが、苦手な方での踏み切りは殆ど出来なかったため、足を上げるだけで行い、その後ジャンプさせました。それからボールによって踏み切り足を変えるようにトレーニングをし、ゴールの横からのジャンプキャッチに移行しました。ポジショニングや身体の向きやいつ観るのかということまで踏み込んで行いました。アングルプレーは9月に一度行っていたので理解もしていてスムーズに進められました。ただ、実践になるとニアサイドが空いたり、構えが遅れたりする傾向にありました。味方と連携して（コーチング）守る事も課題となりました。U-15のハイボールパンチングではまずはハイボールジャンプキャッチの復習から行い、スタンディングでのパンチング、ジャンピングでのパンチングへと進めました。ファーサイドへの片手のパンチングも行いましたが、両手でもジャンプしながらだとボールを正確に捉えられませんでした。そして、ゲームでは強風にみまわれ、クロスへの対応としては困難なものになりました。パンチングのシーンは出ませんでした。積極的に声を出して、トライする姿は伺えました。そして、DFとの連携で、プロテクション&カバーが出来るシーンも増えました。まだまだ、クロスに対する課題は山積みですが、何をすべきかは伝わったので、所属チームの取り組みも含めて継続する事が重要だと感じました。



協賛

ユニバーサル株式会社、ユアSAM&B株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人大阪府サッカー協会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-7-25 イトーダイ鞠本町ビル6階

TEL：06-6441-5881（平日10:00～18:00） FAX：06-6441-5882 <http://osaka-fa.or.jp>